

おりますので、引き続き運営支援をまいります。

介護保険

介護保険事業については、第3期介護保険事業計画により、介護が必要となった高齢者が、可能な限り自宅で生活が送れるよう支援し、施設依存型から在宅福祉型重視への移行を踏まえ、計画に基づく適正な運営を図ってまいります。

また、昨年同様、生きがいデイサービスや転倒防止教室、全道でも札幌市と本町の2自治体が先進的に実施している地域福祉権利擁護事業は、高齢者などの多重債務の救済や日常的な金銭管理を行う業務など社会福祉協議会内に設置してある生活サポートセンターと連携を図りながら継続し取り組んでまいります。

高齢者事業団は、高齢者の生きがいや社会参加を目的として運営されておりますが、道補助金が全額削減されることから、本年度は運営を維持するための削減分を町費で補填してまいります。平成20年度以降で、社団法人の設立

について検討されることとなっており、適正な指導をまいります。

子育て支援

子育て支援事業については、急速に進む少子化の中で、平成17年度からスタートした「次世代育成支援地域行動計画」に基づき、町内で子育てをする人が安心して楽しく子育てができる条件整備のため、子育て支援センター事業をはじめ、児童クラブへの活動支援、すきやき隊活動などの支援事業について、教育委員会の家庭教育支援と連携し子育て



ここにこ学級

昨年度の10周年の際に訪問して協議を行っておりますが、今後も、継続して両町の「友好の町」の絆を深めることを確認してきており、引き続き町内児童の親善交流を実施してまいります。

千里大学については、近年の高齢化社会の中で豊かに充実した生活をしていただくため、高齢者の学習や交流活動も引き続き取り組んでまいります。

公民館および体育施設の整備については、本町初のオリンピック代表選手を育んだ空知川スポーツリンクス並びに金山地区コミュニティセンターの屋根などを改修する予算を計上いたしました。

また、施設管理については4箇所の公民館分館と町民体育館やスポーツ研修センター、空知川スポーツリンクスに指定管理者制度を導入し、民間活力により施設の効果的・効率的な管理運営に努めることといたしました。

本年度は、生涯学習推進体制の整備に係る社会教育主事有資格者の確保のため、所要の予算を計上いたしました。

て支援を推進してまいります。更に、国の少子化に対する取り組みとして、児童手当の乳幼児加算が創設され、3歳未満の第1子、第2子に対する手当が倍増されます。

障害者福祉

障害者自立支援法が、平成18年10月から本格施行されており、これまで身体、知的、精神の障害ごとに分かれていた福祉サービスが一元化され、障害者の日常生活を支援する基礎的サービスである「自立支援給付」と、外出時の移動支援や相談業務などの「地域生活支援事業」の2区分に分けられ、利用者には福祉サービス費用の原則1割負担が求められるようになりました。

このうち「地域生活支援事業」については、圏域5市町村の共同委託事業として富良野市内の社会福祉法人に委託し、事業を実施することとなりましたので、所要の予算を計上させていただきました。また、社会福祉法人南富良野大乗会では、民間補助金と町の支援により、地域生活支援と就労支援の場とする障害

者支援施設「なんぷう香房森のパン屋」が4月のオープンに向けて建設中であり、道の駅周辺が活性化されるものと期待しているところであり

いきいきの南富良野 学び楽しむ文化のまち

次に、次代を築く子ども達の学力向上や生きる力を育む教育の実践とあらゆる世代の人が、それぞれのライフスタイルにあわせて楽しく学び楽しむ文化の町をめざす、いきいきの南富良野 学び楽しむ文化のまちづくりであります。

次に、次代を築く子ども達の学力向上や生きる力を育む教育の実践とあらゆる世代の人が、それぞれのライフスタイルにあわせて楽しく学び楽しむ文化の町をめざす、いきいきの南富良野 学び楽しむ文化のまちづくりであります。

学校教育・生涯学習

国においては教育再生のための検討が行われおりますが、急速に進む少子高齢化の中で、次代を担う子ども達の教育環境と高齢者が生きがいのある充実した生活を送る学習環境づくりは、成熟化社会において重要であり、教育委員会の方針を尊重し、第4次総合計画の基本方針に沿った教育環境の充実に、より一層努めてま



南富良野高校「習熟度別学習」

います。

南富良野高等学校は、三段階の「習熟度別学習」や「類型選択授業」に取り組み、生徒一人ひとりにきめ細かな学習指導とアウトドアガイドや訪問介護士資格取得認定校の指定を受けるなど地域性や時代要請に応えるべく、特色のある学校づくりを進めてまいります。

また、少子化の中で学校運営の基本となる生徒確保のための通学費と資格取得検定料に対する助成や国際交流派遣事業についても、継続して実施する予算を計上いたしました。

設部により金山地区空知川の立木の伐開整理作業が予定されております。

町営バスについては、引き続きスクールバスとの一体運行により、利便性確保に努めてまいります。

生活環境の整備

本年度の重点事業で金山地区に建設される特別養護老人ホームの平成20年度開設に向け、ここに勤務する職員の住宅を確保するため、町内建設業者により、民間賃貸共同住宅建設促進事業を活用した1LDK8室1棟の共同住宅を金山・金山地区に3棟建設する事業が進められることになっております。この共同住宅の合併処理浄化槽設置に対する助成についても所要の予算を計上させていただきます。

持家住宅促進事業についても、引き続き取り組んでまいります。本年度が5年間の時限年度となりますので、平成20年度からの制度継続について、検討を進めてまいります。

水道の整備では、落合地区

うるおいの南富良野 快適な生活環境のまち

次に、豊かな自然と調和する快適な生活環境の整備と生活安全の強化をめざす、うるおいの南富良野 快適な生活環境のまちづくりであります。

地域基盤の整備

地域基盤の整備については、道路交通網の整備として町道幾寅鹿越線の改良及び舗装工事を引き続き実施するほか、旧公営住宅幾寅団地跡地などを宅地分譲地として分譲するため、団地内道路の改良と舗装整備に必要な予算を計上いたしました。

また、町道維持管理に必要な小型トラックを更新するため、所要の予算を計上いたしました。道々の整備は、落合停車場



宅地分譲地として整備予定の旧幾寅団地跡地

線の第2架動橋改良工事の継続と、幾寅金山停車場線の金山不二橋改築工事や石勝高原幾寅線のJR踏切付近の調査設計が予定され、国道38号線では、幾寅松井地区河原地先付近の横断管渠補修工事と国道237号線金山・下金山地区の道路法面補修工事が予定されております。

北海道横断自動車道の整備については、狩勝第1トンネルが1月に貫通しており、本年11月には、十勝清水・トマム間が開通する予定となっております。

河川整備では、旭川開発建



本部町児童とのカーリング交流